

# 馬場ひでゆきの活動日誌

## No.86



きましたからなおさらです。選挙に勝ちさえすれば、結局は前言を翻して何を言っても許される、県民は黙ってついてくれば良いという態度が見え見えます。

◆現在の県議会は正確な民意を反映していない

杉井旬議員（リベラル新潟）は、今議会で幕引きを諮ろうとする知事の拙速な動きを批判し、来年に実施される任期終了後のの県知事選挙で県民の信を問えばいいのではないかと、仮に県議会で議決をするというのであれば、せめて県議会議員の出直し選挙をしてからではどうかと訴えました。

後者については、3年前の県議会議員選挙では明確に原発再稼働を認めると主張して議員に当選したのは僅か3名に過ぎず、現在の議会には県民の民意を反映した議会にはなっていないからだ、というのが理由です。極めて正論だと思いました。

◆「みなさん」には県議会も含まれていた？

牧田正樹議員は、花角知事が7年前の県知事選の街頭演説で「みなさんに信を問う、その覚悟がある」と述べたことを指摘し、『みなさん』には県議会も含まれていたのか、と質しました。これに対して、知事は「記憶が定かではないが、県民と言ったとしたら、県議会も県民の代表者だと思っていた」と言いました。この回答には啞然としましたね。

当時の知事選では原発の再稼働についての対応が重要な争点になっていました。花角知事は僅差で勝利を勝ち取りましたが、その決め手になったのが「県民に信を問う」という約束です。

選挙の時に「県民」という言葉に「県議会」も含まれるとわかっていたら、誰も花角知事には期待しなかったでしょう。

花角知事は、選挙のときから県民を欺くようなあいまいな言葉の使い方をしていたことになりました。

◆知事の前稿棒読みに傍聴席からもヤジが飛び交う

笠原晴彦議員（未来にいがた）は、原発が立地する柏崎・刈羽選挙区選出の議員です。笠原議員は、花角知事の決断に対する地元住民の皆さんの失望や怒りを地元の方言を交えてアピールしました。すごく気持ちが込められた内容でした。

ところが、花角知事の答弁は、終始、原稿は棒読み、しかも早口で声量も小さく、不快感を露わにしたような態度でした。傍聴席からは「原稿棒読み」「声が聞こえない」「もつとゆっくりしやべろ！」などのヤジが次々に飛んできました。知事は、県民を二分する重要な問題だと自覚しているはずですが、だからこそ、誠実な態度が必要ではないでしょうか。議論は続きます。

●「信を問う」相手を県民ではなく県議会にした理由

知事が「信を問う」相手を県民ではなく県議会にしたことについての質問がありました。

花角知事は、県民の分断を防ぐ思いからだということを強調しました。

これには、為政者目線の言い方であり違和感を覚えました。知事は、ずうっと「県民に信を問う」ということを言い続けて

採決の日(議会最終日)!

### 視聴会開催

12月22日(月)

午後1時～

馬場ひでゆき事務所(本町3)にて

私(馬場)は

「松代病院の無床診療所化」

「原発再稼働に伴う補正予算案」

について反対討論に立ちます

問い合わせ先: ☎025-546-7110

# みんなで手を繋いでいこう 原発カフェ

11月30日、オーレンプラザで、「暮らしとつながる原発カフェ」が開催され、約20名が参加しました。主催は、新潟市在住で、柏崎刈羽原発の再稼働反対運動に取り組む桑原三恵さんと原飛鳥さんです。

## ★地道な取組に敬服！

桑原さんは、新潟市生まれ。1981年から東北電力巻原発（旧巻町）の建設反対運動に携わりました。当時、同調圧力で反対の声を上げられなかった女性たちに折り鶴運動をすすめ、女性たちが声をあげる運動の先駆けとなりました。その後も、原発問題を考えるいくつもの会を立ち上げて中心メンバーとして活動してきました。

原さんは、インスタグラム・ブログ、YouTubeなどで県内各地の市民団体の活動などを配信してきました。私も集会などに参加する都度、動画を撮影する原さんをお見かけしていました。

原発カフェは、クラウドファンディングで集めた資金で、2023年から月1回、県内各地で実施してきたそうです。

そういえば、2016年の新潟県知事選で原発再稼働に慎重だった泉田知事の路線を引き継ぐ候補がなかなか現れなかった

「相続財産清算人の仕事」  
議員の仕事しながら、弁護士の仕事もしています。下の写真は、柏崎市内の山沿いの土地です。死亡した人の

## Break

土地を相続する人が誰もいないため、私が相続財産清算人になってその土地の調査、管理をしています。昔は写真の右側の緩やかな斜面に棚田が広がっていたようですが、今は雑草や雑木が繁茂しています。誰も引き取り手がないので、国に引き取ってもらうのですが、土地の特定や形状、現状を国に報告する必要から、土地家屋調査士さん(写真中央)と一緒に現地調査しているのです。こんな仕事が多くなってきました。



ときも、最後まであきらめずに頑張る、米山隆一候補を担ぎ出したのも、桑原さんたち女性たちが声を上げ続けたからでした。そんなことを、お話お聞きしながら思い出しました。



左が原飛鳥さん、右が桑原三恵さん。

## ★政治家の判断は自由なのか？

話し合いの中で、参加者から「議員は原発の再稼働の判断を明確にしないまま当選している。そんな人たちが議会で原発再稼働を容認するという議決をするのは許されるのか。私たちは何かできないのか」との質問があり、私が次の通り回答しました。

「議員は、民意を議会に反映する存在であり、議決をするに際しては民意を汲み取る必要があります。民意から離れて自由に判断できるというものではないというのが、憲法上の考え方です。」

しかし、現実政治では、選挙で選ばれた以上は自由に判断できると考えている人が多く、しかも、それを違法だと糺す制度

はなく、自由な振舞いがまかり通っています。

だからこそ、まともな候補者を選び、選挙後も日常的に議員の行動を監視することが必要です。政治家に適切な政治判断をさせるには、私たちがもつと賢くなるしかありません」

## 上越★農業映画祭

今年も楽しかったです。後半の演奏会では、フルートの山崎美矢子さんが平澤さんのギターと共演、ステキな音色を聴かせていただきました。また来年！



平澤さんの「久比岐の里」今年も聴けました。最前列で平澤さんのご家族が見守っておられました。見ててウルウル、来年も聴きたいですね。

## 11月22日～12月5日

- 11月25日 人間の鎖（県庁・県議会）、他県議員と懇談会
- 27日 県議会・普通会計決算審査特別委員会
- 29日 第5回 上越★農業映画祭（高田世界館）
- 30日 暮らしとつながる原発カフェ（オーレンプラザ）
- 12月2日 県議会（12月定例会）・県知事議案説明
- 4日 県議会・代表質問
- 5日 県議会・一般質問

発行責任者：馬場ひでゆき事務所

住所 新潟県上越市本町3丁目3番3号

ダイアパレス高田武番館2階

電話 025-546-7110

ファックス 025-546-7666

メール kengi-babahideyuki@wind.ocn.ne.jp